

私は、民主連合を代表し、令和3年度野田市一般会計予算を始め、特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算の全ての予算について賛成の立場で討論いたします。

日本経済は新型コロナウイルスが世界中で蔓延し、都市封鎖、ロックダウン、緊急事態宣言など世界中が混乱の渦に巻き込まれ、経済活動は停滞に追い込まれました。また、多くの人が楽しみにしている東京オリンピック・パラリンピックも開催が危ぶまれる状況で、現状では海外からの観客を受け入れるのを断念するなど、経済効果への影響が懸念されています。

国家予算を見れば、政府が閣議決定した2021年度一般会計予算案では、新型コロナウイルス感染症対策により、冬期予算ベースでは過去最高の、106兆6,097億円と、3年連続で100兆円を上回っています。歳出額と、減少が見込まれる税収との格差が広がり、政府が目指している、財政健全化は一段と遠のく財政状況となっています。

野田市の令和3年度予算編成については、一般会計の予算規模が509億7,200万円となり、前年と比較して、5億9,400万円1.2%の減となっています。歳入の根幹である市税については最終的に11億円の減収見込となりました。市税の減収に伴い、臨時財政対策債を含む、実質、普通交付税の増額となりますが、一般財源を補うために、財政調整基金2億5,000万円を取り崩し、収入均衡を計っている厳しい予算編成となっています。

歳出における扶助費や公債費の伸びがあったものの、事業見直しによる経費の効率化や、普通建設事業費の大幅減などにより、財政調整基金の取り崩しを最小限に抑えられたことを評価いたします。

一般会計の、歳出における主な事業として、子ども館整備事業や、老人福祉センター大規模改修事業の実施、愛宕駅西口駅前美術館事業、総合公園スケートボードパーク改修事業などを評価し、連続立体交差事業、野田市駅西土地区画整理事業、愛宕駅西口駅前広場等整備事業の一日も早い完成を望みます。費目的には、コミュニティバス運行事業の継続及び交通不便地域対策、生活困窮者自立支援事業、ひとり親家庭支援対策の強化や人間ドック費用の助成金の計上など評価いたします。

コロナ禍で感染防止対策に配慮しながら、事業を行わなければならない状況で、多くの新規事業が予算計上されており、職員の負担が心配されますが、各部署の横断的な連携を図り、市民サービスの向上につながる事業になることを期待して、令和3年度一般会計予算に賛成いたします。

次に、国民健康保険、介護保険、次木親野井特定土地区画整理事業、後期高齢者医療の特別会計予算及び野田市水道事業会計、野田市下水道事業会計予算について、それぞれの目的に沿った予算措置がされていることを認め、賛成討論と

いたします。